

表彰区分	マロニエ建築・景観賞（景観）
作品名	二荒山神社 参道（女坂）
所在地	宇都宮市馬場通り
景観形成団	二荒山神社、(株)渡辺有規建築企画事務所

講 評

二荒山神社の大鳥居をくぐって見上げる大石段の脇を左に折れる道がある。女坂と呼ばれる。この緩傾斜の石段とそれを取りまく工作物、植栽などが応募作品を構成する。市街地再開発組合（超高層マンション）、宇都宮市（参道両脇の広場）および二荒山神社の三者間で、手すり、防護柵、擁壁などの材料、色調が調整され、神社境内にふさわしく落ち着いたある参道景観が実現した。百メートルに満たない道すがら、枯山水の小庭園、清流の下る石貼の水路、宇都宮逗留を示す蕪村の句碑、休憩所などが木々の間に配されて、参詣者にやさしい。参道の門は朝6時に開かれ、夜9時に閉まるが、夏は開門をまたず、朝詣会と呼ばれる氏子たちの参道清掃が行われる。宇都宮の中心街には数少ない歴史を感じる一角に、古いものと新しいものをつないで新たな環境創造を行った本作品は、マロニエ建築・景観賞（景観）にふさわしいものとして選考した。



表彰区分	マロニエ建築・景観奨励賞（景観）
作品名	那須平成の森 駒止の滝
所在地	那須町湯本地内
景観形成団	環境省、栃木県

講 評

那須高原の湯本温泉から北温泉に向かう途中にある既存の駐車場を拡張し、これまで一般の観光客には見ることができなかった「駒止の滝」を一望できる観瀑台と、やや離れた高台に休憩施設（展望デッキと縁台）を整備した。ここは国（環境省）が管理する国有地で、栃木県が環境省から施行委任を受けて整備し、その後は環境省に引き渡した。周囲はモミジをはじめとする広葉樹が山容を覆う大景観が広がり、新緑期や紅葉期など、駒止の滝、那須連山の主峰茶臼岳のまたとない視点場を提供する。観瀑台は鉄骨造で床デッキおよび手摺りに木が使われる。展望デッキ、縁台も木製であり、ともに周囲の自然景観に溶け込んでいる。周辺地域にすでに整備されている自然散策路とつながり、自然とのふれあいの拠点として発展の可能性をもつ本作品は、マロニエ建築・景観奨励賞（景観）にふさわしいものとして選考した。

観瀑台全景



観瀑台から駒止の滝